

令和7年12月 文教企業委員会行政報告資料
文化スポーツ部

呉市文化ホールのリニューアルについて

呉市文化ホール（平成元年建築。以下「文化ホール」といいます。）は、開館から36年が経過し、これまで大規模改修を行っていないことから、施設・設備の老朽化が進行しており、また、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号）等の法的な基準や新たな市民ニーズを十分に満たすことができていない状況にあります。

「呉市公共施設に関する個別施設計画（令和3年3月策定）」で示されている目標使用年数65年までの今後約30年間の施設の適切な維持管理及び安全性の確保を図るために、早期にリニューアル改修に着手していく必要があり、令和5年度から令和6年度にかけて、施設の劣化度調査、大規模改修基本計画・基本設計及び中長期整備計画の策定を行うとともに、令和7年度においては、呉市文化ホールリニューアル内部検討委員会（以下「内部検討委員会」といいます。）を設置し、具体的な改修箇所（改修内容）、概算事業費、活用可能な財源等の検討（精査）を行ってきたところです。

この度、内部検討委員会における検討結果を踏まえ、文化ホールリニューアルの今後の方向性を取りまとめましたので、報告します。

1 施設の概要

所在地	呉市中央3丁目10番1号
建物構造・階数	鉄筋コンクリート造、地下2階地上4階建て
延べ面積	14,393.10m ²
開館年月	平成元年10月（竣工：平成元年9月20日）
主要施設	ホール（収容人：1,802人、座席数：1,614席）
附属施設	多目的室、展示室（2室）、リハーサル室、練習室（3室）、楽屋（5室）、控室、レストラン、駐車場

2 リニューアルの基本方針

文化ホールは、本市における芸術・文化の拠点施設として、開館当初から多くの市民に利用され、親しまれている重要な施設です。文化ホールが将来にわたり、市民が文化芸術活動に親しみ、安全・快適に利用することができる拠点施設であり続けることができるよう、リニューアルに当たっては、施設の機能向上、利便性・安全性の向上等を図る観点から、次の四つの基本方針に沿って、リニューアルを進めることとします。

- (1) 意匠の継承
- (2) 脱炭素化
- (3) 長寿命化及び安全性
- (4) バリアフリー化及び機能向上

なお、今回のリニューアルの内容については、基本的には老朽化や耐用年数が超過している施設、設備等の更新が中心となります。既存不適格な天井や防火設備等の改修のほか、ユニバーサルデザイン、脱炭素化に対応していくための改修や、新たなニーズ等を踏まえた利用者の利便性向上にもつながる改修を行う予定です。

また、文化ホールは、建築的にも高音質の優れた施設として評価が高く、現在の音響環境を改修により損なわないよう音響測定を行いながら改修を進めていきます。

3 リニューアルの概要

(1) 主な改修箇所（改修内容）

基本方針	改修箇所	改修前の状況	改修内容
意匠の継承	外壁	・経年劣化によるタイルの亀裂、破損及び塗料の剥がれ	・打診調査を実施し、老朽化した箇所を改修
脱炭素化	照明	・蛍光灯や電球を使用	・ホール舞台照明及び一般照明（非常照明及び誘導灯を含む。）をLED化

長寿命化及び安全性	天井（ホール）	<ul style="list-style-type: none"> 現状の特定天井は既存不適格 <p>※特定天井とは、高さが 6 m を越える天井部分で、脱落により人に重大な危害を加えるおそれのある吊り天井のこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存の吊り天井を撤去し、天井全面に鉄骨を設け、天井を設置
	屋上	<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水シートの剥がれ 	<ul style="list-style-type: none"> 全面更新
	内装	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化による変色、汚れ及び剥がれ 	<ul style="list-style-type: none"> 全面更新（建具交換を含む。）
	舞台音響設備、舞台機構設備及び吊物機構設備	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数超過 	<ul style="list-style-type: none"> 全面更新
	客室椅子	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化 	<ul style="list-style-type: none"> 全面更新（背もたれに手すりを設置）
	防火設備、空調設備、電気設備、衛生設備及び受変電設備	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数超過 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した設備を全面更新
	エントランスロビー	<ul style="list-style-type: none"> チケット販売窓口と当日チケット販売窓口の場所が異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> チケット売場を新設
バリアフリー化及び機能向上	ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> 授乳室、オムツ交換台未設置 	<ul style="list-style-type: none"> 授乳室及びオムツ交換台を新設
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 自動流水センサー、オストメイト未設置 	<ul style="list-style-type: none"> センサー式便器に全面更新 多目的トイレにオストメイト器具を新設
	サイン表示	<ul style="list-style-type: none"> 分かりにくい案内表示 	<ul style="list-style-type: none"> デザインや設置位置を更新
	外構	<ul style="list-style-type: none"> 外部階段に照明が少なく暗い。 	<ul style="list-style-type: none"> 照明を新設

(2) 概算事業費

令和6年度に実施した劣化度調査、基本設計等を基に、内部検討委員会において、緊急性・効率性・利便性の向上等の観点から改修内容等の精査を行ったところ、現時点における概算事業費は約43.8億円を見込んでいます。

なお、概算事業費については、今後実施していく実施設計において精査していくとともに、昨今の慢性的な人手不足、建築資材価格の高騰など、今後の社会経済情勢の変化により、更に上昇する可能性もあります。

(3) 財源

財源については、有利な財源の活用を検討します。

4 今後のスケジュール（案）

文化ホールのリニューアルについては、コスト面、有利な財源の確保、事業の効率性、市民への影響等を総合的に勘案し、早期に一括リニューアルに着手していくべきであることから、令和8年度に実施設計に着手します（令和8年度当初予算で計上予定）。

実施設計完了後、令和9年度から令和10年度にかけて改修工事を行い、令和11年度にリニューアルオープンするスケジュールで進めていきたいと考えています。

